常任委員会
行政視察レポート

総務常任委員会

平成26年11月12～14日

【愛知県一宮市】

■視察事項「市民が選ぶ市民活動支援制度」について

この制度は、支援したい市民活動団体の事業を市民が選択し、その投票数により団体への支援金額が決定するものです。

市民が直接選択することで、今まで認知度の低かった市民活動に光が当たり、理解や関心が高まるほか、自分が参加できそうな活動を考える契機にもなっているとのことでした。一方で、自主財源や事業収入による基盤整備も指導しながら、自立と継続を見据えた支援が大事であると感じました。

【静岡県掛川市】

■視察事項「ゴミの減量に向けた取り組み」について

環境資源ギャラリーを視察（掛川市）

平成17年の合併時、2カ所あった焼却施設を財政負担を考慮し1カ所で処理することとなったため、「ゴミ減量大作戦」を掲げ、住民のみならず事業所への分別指導、減量化を徹底していました。

その結果、ごみ排出量の少なさが全国トップレベルとなり、平成24年度の排出量を比較すると、本市は掛川市の1・65倍多く、より一層の啓発活動が必要と感じました。

【愛知県豊川市】

■視察事項「ファシリティマネジメント」について

築30年以上の公共施設が半数を超え、改修・改築等での維持では、将来的に財政破綻をきたす恐れがあるため、公共施設削減目標を含めた公共施設適正配置基本方針を策定。保有総数の縮減と計画的な維持保全による長寿命化を推進していました。

施設の延命措置だけでは将来に財政負担が増すことから、市の特性を考慮した取り組みが急務であると再認識しました。

常任委員会活動報告

常任委員会は、議会から付託された案件等を専門的に審査するために設置されています。各常任委員会が所管する市の事務の調査や、請願・陳情の審査を行います。

【総務常任委員会】

■12月12日

◇所管事務調査「ごみの減量化について」

【文教常任委員会】

■12月12日

◇所管事務調査「花巻市の生涯学習について」

【福祉常任委員会】

■12月15日

◇第19号請願「手話言語法（仮称）の制定を求めることについて」＝採択（意見書発議）

【産業建設常任委員会】

■11月10日

◇第15号請願「農業委員会・企業の農地所有・農協改革など『農業改革』の中止を求めることについて」

■11月19日

◇第15号請願「農業委員会・企業の農地所有・農協改革など『農業改革』の中止を求めることについて」＝採択（意見書発議）

■12月15日

◇第20号請願「米価下落等への対応を求めることについて」＝採択（意見書発議）

■12月16日

◇協議「意見書案について」

請願・陳情について

市政等について要望があるときは、文書で市議会に請願・陳情を提出することができます。

■請願■

議員の紹介が必要です。受理した請願は、原則として所管の委員会に付託され審査されます。委員会での審査結果は、委員長が本会議で報告します。本会議では、「採択」「不採択」など、市議会としての最終的な結論を出します。

■陳情■

議員の紹介は必要ありません。市内からの陳情は、原則として、請願と同様に審査されますが、内容等によっては議会の審議に付さない場合があります。また、市外からの陳情は議長預かりとなり、委員会に付託されません。

◇ ◇ ◇ ◇ ◇

請願・陳情の審議結果は、請願（陳情）者に文書で通知します。また、市政に関するものについては、その結果を市長に送付します。内容によっては、国や県の関係機関等に意見書を提出し、その実現に努めるよう求めます。

【提出方法】

請願（陳情）書には、件名、趣旨、提出年月日、請願（陳情）者の住所・氏名を記載し、必ず押印してください。また、請願書には、紹介議員（1人以上）の署名または記名押印が必要です。

詳しいことは、市議会のホームページまたは議会事務局までお問い合わせください。

文教常任委員会

平成26年11月19～21日

【愛知県半田市】

■視察事項「総合型地域スポーツクラブ」について

地域の中学校5校区を単位に設立されたスポーツクラブを中心として、スポーツ振興に取り組んでおり、また、毎年11月の第1日曜日を「はんだスポーツの日」と制定し、マラソン大会やウォーキングなど全市的に日常からスポーツに親しめる環境が整っていました。

市民総ぐるみでスポーツを楽しむことが総合型地域スポーツクラブの基本となっていることを実感しました。

【三重県名張市】

■視察事項「小規模特認校制度」について

小規模特認校制度を視察（名張市）

小規模特認校とは、通学区域を設けることなく、市内全域からの児童生徒の就学を認める制度で、自然環境や少人数の良さを生かした小規模校の特色ある教育を目的としています。

学校の適正規模、適正配置については、本市でも抱えている課題であり、名張市で取り組んでいる小規模特認校制度に係る一連の経緯と結果は非常に参考になりました。

【京都府八幡市】

■視察事項「小中一貫教育の推進」について

八幡市学校UD化構想を基に、中学校区を基礎とした1中学校2小学校を1つのキャンパスとする連携型小中一貫教育に取り組んでいました。

「小中学校の9年間を通して、子どもたちに、どの時期に、どんな力をつけていくのか」を小中学校の教職員が一緒に話し合い取り組むことができ、交流し理解し合うことが成果につながっていることを実感しました。

福祉常任委員会

平成26年11月12～14日

【愛知県日進市】

■視察事項「障害者総合支援」について

日進市障害者福祉センターは、療育支援を行う子ども発達支援センター「すくすく園」と地域生活支援センター「たけのやま」からなる複合施設で、「たけのやま」では、福祉サービス利用に関する相談支援も行っていました。

ライフステージに応じた一貫した支援と、ワンストップの相談窓口としての取り組みが大事であることを実感しました。

【愛知県大府市】

■視察事項「健康都市おおぶ」について

障害者福祉センターを視察（日進市）

健康寿命を延ばし長生きを喜べる健康都市日本一を目指し、7つの重点分野別、ライフステージ別、意識別に目標を設定し健康づくりに取り組んでいました。

特にも、無料で受けられる「脳とからだの健康チェック」は、認知機能検査、体力・骨密度測定など「健康で長生き」実現のための検査であり、本市でも、近い将来の超高齢化社会への対策として取り組むべきと感じました。

【滋賀県長浜市】

■視察事項「災害時要援護者支援制度」について

支えあい、助けあう地域づくりを目指し、「長浜市避難支援・見守り支えあい制度」を創設。市や社会福祉協議会、自治会等で情報共有し、要援護者を支援していました。

また、各種事業者（新聞販売店や運送事業者等）の協力を得て「見守りネットワーク推進事業」を立ち上げていました。

日常の中で連絡体制を整え、早期発見・対応ができる仕組みが重要であるとあらためて感じました。

産業建設常任委員会

平成26年11月12～14日

【和歌山県橋本市】

■視察事項「企業誘致」について

秋津野ガルテンを視察（田辺市）

橋本市は、和歌山県と都市再生機構による「三者協議会」を設置。同機構保有の未整備地を県が借り上げ造成、分譲段階で当該経費を県と同機構が支払う方法で、三位一体での用地提供・企業誘致体制を構築していました。

本市でも、職員体制や優遇制度の充実を図る必要があると感じました。

【和歌山県田辺市】

■視察事項「紀州熊野地域づくり学校」「秋津野ガルテンの取り組み」について

同学校は、地域の自立と持続可能な社会の実現に向け、農商工連携やグリーンツーリズム、6次産業化等をキーワードに、「フィールドワーク」と「座学」を組み合わせ、「交流」を通じて地域活性化のプロセスを学ぶもので、各地域でリーダーとして活躍できる人材の育成を目指していました。

同事業は、農と地域資源を生かし都市との交流を実践している「農業法人株式会社秋津野」に委託。より実効性のある学びの場となっていました。

地域課題の解決を主軸に、地域活性化につなげる重要性を感じました。

【三重県伊賀市】

■視察事項「公共施設等の木造化の推進」について

林業振興の現状と課題等の説明を受け、木造校舎の伊賀市立上野西小学校を視察しました。

建築条件等の課題はあるものの、木の持つ優しさは児童の心身の健康に少なからず影響していると感じました。また、木造化と合わせて地域産材の利用につながる体制づくりの必要性を感じました。